

## 2023年度 ニチキッズ本厚木駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～3月1日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月1日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもたちが主体的に取り組める保育を職員間で話し合い、保育計画を立てて保育理念の実践に努めた。
子どもの発達援助	個々の子どもの姿を把握し、子どもの最善の利益を踏まえた発達支援を意識して行った。保育士、栄養士が連携しあいそれぞれの専門知識を活かした発達援助を充実させることが今後の目標である。
保護者に対する支援	保護者の気持ちを受け止め、悩みに寄り添って信頼関係の構築に尽力した。子どもの最善の利益を追求しつつ、保護者のありのままを受容して質の高い支援を目指していきたい。
保育を支える組織的基盤	保育所保育指針に沿って園内研修を毎月実施した。 又並行して不適切保育撲滅に取り組み、「人権擁護のセルフチェック」を行い、不適切保育撲滅に対する意識を高めた。

総評
<p>保育理念、保育方針に基づき、常に子どもの最善の利益を念頭に置いた保育を行い、その徹底を行うために保育所保育指針の学習や不適切保育撲滅研修等、園内研修に力を入れ全職員が同じ認識で同じ対応が出来る様にした一年であった。</p> <p>今後も保育士・栄養士がそれぞれに専門性を活かし連携を取りながら、子どもの最善の利益を追求して行こうと考えている。</p> <p>それには自己研鑽が必要であり、職員一人ひとりが自発的に学び、保育の質の向上、また保育園の質の向上へ意識を高め、子どもも保護者も安心して通える保育園作りをして目指していこうと思っている。</p>